



あいとぴあレインボープラン

狛江市障がい者計画

進捗管理

平成 31 年度報告書

目次

序章	はじめに	1
1	進捗管理	3
2	本報告書の構成	3
3	進捗評価の方法	4
4	進捗評価の流れ	5
第1章	重点施策事業別進捗管理シート	7
第2章	重点施策進捗管理シート	25

序章 はじめに

1 進捗管理

市では、平成 30 年3月にあいとぴあレインボープラン(狛江市障がい者計画・第5期障がい福祉計画・第1期障がい児福祉計画)(以下「本計画」という。)を策定して、「障がいのある人もない人も、ともに暮らし続けられるまち～あいとぴあ狛江～」を基本理念としました。この基本理念を踏まえた4つの施策の体系を設定して、障がい者福祉施策を推進しています。

本計画の実効性を担保し着実な進展を図るため、前年度の取組状況について、狛江市福祉基本条例第 26 条第1項の規定により設置された狛江市市民福祉推進委員会障がい小委員会で、本計画の進捗状況の把握や評価を行うこととします。

なお、本計画のうち狛江市障がい者計画の把握や評価については本書で、狛江市第5期障がい福祉計画・第1期障がい児福祉計画の把握や評価については「狛江市第5期障がい福祉計画・第1期障がい児福祉計画サービス見込量進捗状況」シートで行うこととします。

2 本報告書の構成

(1)重点施策事業別進捗管理シート

市職員が計画に位置付けられた事業を着実に実施するため、重点施策に係る事業のうち新規に実施する事業等の進捗管理が必要と認められるものについて、当該年度に実施したことを「Do(実行)」の欄に、

当該事業の実施結果の評価を3(2)で示す基準に従い「Check(評価)」の欄に、(2)で記載した課題を踏まえた当該事業の改善点を「Act(改善点)」の欄に記載します。

(2)重点施策進捗管理シート

本計画で掲げた基本理念及び基本目標を実現するために、市で実施すべき重点施策の当該年度における実施状況及び課題を市民に分かりやすく説明するため、重点施策の施策小項目ごとに主要事業を記載するとともに、(1)重点施策事業別進捗管理シートに記載した事業の実施状況及び進捗評価を踏まえて、当該重点施策を実施するにあたっての課題を「施策を実施するにあたっての課題」の欄に分かりやすく記載するとともに、この課題を踏まえて、狛江市市民福祉推進委員会障がい小委員会からいただいたご意見を「委員会からの意見」の欄に記載し、次年度の施策の実施に反映させてまいります。

3 進捗評価の方法

平成 26 年7月に、市が策定している計画の評価基準を4段階に統一し、取組みの強化を図るべき評価の目安が示されたことを踏まえ、狛江市市民福祉推進委員会障がい小委員会で議論、検討を行い、下記のとおり評価基準とします。

(1) 評価方法

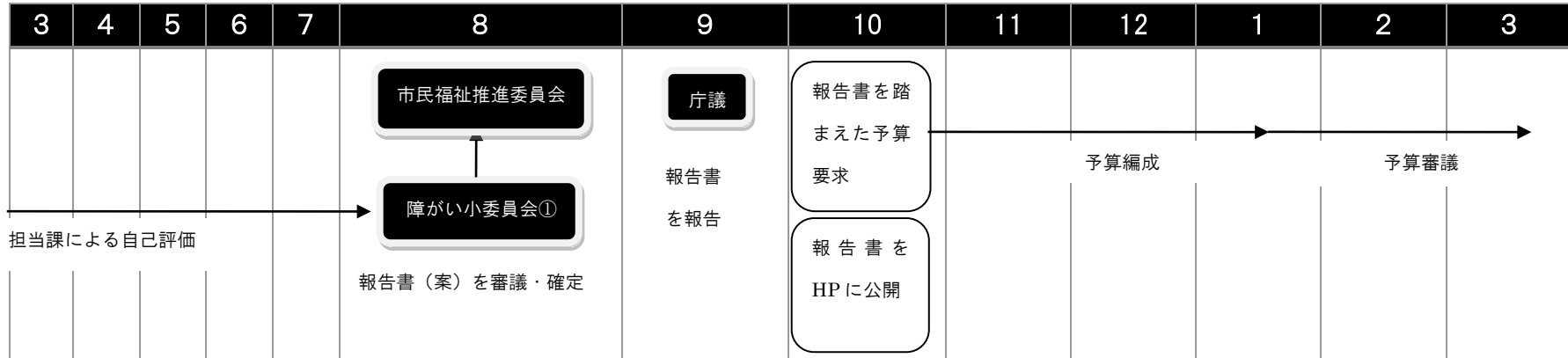
施策の方向性ごとに4段階で評価します。

(2) 評価基準

評価基準		評価内容
A	進捗している	・前年よりもより一層取組みを強化。 ・年次目標どおり取組みを進捗できた。
B	現状維持	・前年同様の取組みを実施(年次目標が現状維持で設定されていた場合を含む。)
C	あまり進捗していない	・前年同様の取組みも行えなかったが、来年度は行う予定。 ・年次目標どおりの進捗ができなかった。
D	まったく進捗していない	・年次目標どおりの進捗ができず、取組みの目途も立っていない。

4 進捗評価の流れ

平成 31 年度の狛江市障がい者計画の進捗管理は、次表のとおり狛江市市民福祉推進委員会障がい小委員会において進捗評価を審議し、確定しました。



第1章 重点施策事業別進捗管理シート

基本 目標	重点 施策		Plan(主な事業内容 (2019年度))	担当課 ¹	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善点)
	大	小							
1	地域で暮らし続けられる基盤づくり								
	(1) 地域における生活の拠点の構築								
	①	a地域生活支援拠点の整備等の検討	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">政</div> ・ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">相</div> ・ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">高</div>	263	-	前年度に引き続き、拠点の整備に向けた検討を行った。	C	早期の整備に向けた検討を進めていく必要がある。	

-
- 1

政

...政策室
- 2

相

...福祉相談課
- 3

高

...高齢障がい課

基本 目標	重点 施策		Plan(主な事業内容 (2019年度))	担当課 ¹	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善点)
	大	小							
1	地域で暮らし続けられる基盤づくり								
	(2) 地域共生社会の実現に向けた支援体制の構築								
	①	a関係部署や地域の 関係機関同士で情 報を共有し、連携 を図るための会議 体の設置(医療的 ケア児)	地 相 高 健	267	-	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、市内の医療的ケア児の現状把握や庁内関連部署の状況の調査を行うとともに、令和2年度の開催に向け、会議体の役割等の検討を行った。令和2年度の予算化が実現した。 市内の医ケア児の実態把握に努め、重心レスパイト事業の案内や各種手帳案内について、ケースワーカーを通じて行った。また、都が実施する多摩府中保健所管内在宅療育支援地域連携会議に継続的に参加し、近隣自治体や医療機関・サービス提供事業者の情報収集に努めた。 必要に応じ把握している医療的ケア児の情報を報告している。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 会議で効果的な議論が行えるよう、委員構成や会議で検討する内容等を詰めていく必要がある。 協議の場の設置に向けて、現場の課題などを伝えることができるように努めていく。 適宜、情報提供はしているが、全体での共有という形では実施できていない。共有する内容やその必要性、共有の仕方などについて、今後検討が必要と思われる。 	

4 地...地域福祉課

5 健...健康推進課

基本 目標	重点 施策		Plan(主な事業内容 (2019年度))	担当課	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善点)
	大	小							
1	地域で暮らし続けられる基盤づくり								
	(2) 地域共生社会の実現に向けた支援体制の構築								
	①	a医療的ケア児に対する関連分野の支援を調整するコーディネーターの配置の検討	地 相 高 健		267	-	・引き続き、市内の医療的ケア児の現状把握や庁内関連部署の状況の把握を行うとともに、令和2年度の開催に向け、コーディネーターの役割等の検討を行った。令和2年度の予算化が実現した。	B	・委託法人とも調整しながら、コーディネーター配置を進めていく必要がある。

基本 目標	重点 施策		Plan(主な事業内容 (2019年度))	担当課 ¹	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善点)
	大	小							
1	地域で暮らし続けられる基盤づくり								
	(2) 地域共生社会の実現に向けた支援体制の構築								
		a精神障がい者の地域移行を進めるための実態把握	相 高	267	-	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援センターリトを中心として地域移行・地域定着を進める中で、実態の把握を進めた。 ・対象者や数を把握するため、ReMHRAD⁶を基にリストを完成させるため医療機関に対して実態調査を試みた。 ・精神科病院に度々訪問し、動機付け支援から地域移行支援の支給決定、関係作りを密にした。 ・都が実施する精神障害者地域移行体制整備支援事業の地域生活移行支援会議に継続的に参加したほか、都委託事業者と連携のもと、当市の取組みを北多摩南部、北部圏域の関係職員に対し研修講師として登壇した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・さらなる実態把握を進めるとともに、それを踏まえて精神障がい者の地域移行を進めていくための課題抽出及び解決策の検討等を行っていく必要がある。 ・保険加入状況等のレセプトを突合させて実数把握を試みたが、社会保険加入者の把握ができなかった。また、医療機関への実態調査でも正確な数字を把握することができなかった。 ・把握できなかった方については、今後も継続して関係性構築に努め、状況の把握に努める。 	

⁶ ReMHRAD とは、国立精神神経研究センターが提供する地域精神保健福祉資源分析データベースをいう。

基本 目標	重点 施策		Plan(主な事業内容 (2019年度))	担当課 ¹	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善点)
	大	小							
1	地域で暮らし続けられる基盤づくり								
	(2) 地域共生社会の実現に向けた支援体制の構築								
	①	a関係部署や地域の 関係機関同士で情 報を共有し、連携 を図るための会議 体の検討(発達障 がい者・精神障が い者)	政 相 高 子 複	267	-	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がい者について、運営事業者の選定を行い、事業者と共にセンター開設に向けた準備を進めた。会議体についてはまだ具体的な形が見えていない。 ・精神障がい者については地域移行・地域定着を進める中で、実態の把握を行っているが、会議体の検討までには至らなかった。 ・地域自立支援協議会の全体会、定例会、専門部会では関係機関と地域当事者等の課題について報告や情報共有を行った。 ・児童発達支援センターの開設に向けて、必要に応じ健康推進課からの申し送りや案内の仕方等についての相談や意見交換を行った。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がい者について、関係部署との情報共有と連携ができるよう、引き続き令和2年度の開設に向けた準備を行いつつ、会議体の設置を進めていく。 ・精神障がい者について、設置に向けた検討を行っていく。 ・地域自立支援協議会改選後も関係機関同士の情報共有を行っていく。 	

⁷ 子...子育て支援課

⁸ 複...子育て・教育支援複合施設準備室

基本 目標	重点 施策		Plan(主な事業内容 (2019年度))	担当課	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善点)
	大	小							
1	地域で暮らし続けられる基盤づくり								
	(2) 地域共生社会の実現に向けた支援体制の構築								
	③		a聴覚障がい者に対する手話通訳者・要約筆記者派遣による意思疎通支援	高	269	-	聴覚障がい者に対し手話通訳者・要約筆記者を派遣すること等により、意思疎通支援を行った。 (派遣実績) 手話通訳 544 件・要約筆記 38 件	B	引き続き、派遣を行っていただくため、養成研修や現任研修を継続し、通訳者の確保とスキルの維持向上を図っていく。

基本 目標	重点 施策		Plan(主な事業内容 (2019年度))	担当課	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善点)
	大	小							
2	総合的で切れ目のない生活支援システムづくり								
	(1) 地域における相談支援の充実								
	①		a児童発達支援センターにおける療育支援体制の検討	高	270	-	運営法人とも協議しながら、人員配置やセンターの具体的な事業内容等についての検討を進めた。	A	引き続き、開設に向けた準備を進めるとともに、開設後の事業の実施状況等を見ながら療育支援体制の充実を進めていく必要がある。
				a基幹相談支援センターのあり方の検討	地 相 高	270	-	障がい小委員会で検討した基幹相談支援センターのあり方について市民福祉推進委員会にて審議し、市長に答申いただいた。	C

基本 目標	重点 施策		Plan(主な事業内容 (2019年度))	担当課	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善点)
	大	小							
2	総合的で切れ目のない生活支援システムづくり								
	(2) 地域における障がい福祉サービスの充実								
			d地域自立支援協議会と障がい小委員会の連携を図り、施策を検討する体制の構築	相 高	271	-	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい小委員会の議事を進める中で、地域自立支援協議会の情報の共有等を行った。 ・地域自立支援協議会では、障害福祉計画の進捗状況の報告を行い、小委員会の委員を兼務されている委員から報告を受け、委員同士の情報共有に努めた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に障がい者計画・第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画を策定する中で、計画に地域自立支援協議会と障がい小委員会それぞれの意見が反映されるように進めていく必要がある。 ・現場の課題を次期計画に反映させていくため、地域自立支援協議会において報告の場を設定していく必要がある。

基本 目標	重点 施策		Plan(主な事業内容 (2019年度))	担当課	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善点)
	大	小							
2	総合的で切れ目のない生活支援システムづくり								
	(2) 地域における障がい福祉サービスの充実								
	②	a市内では提供されていない障がい福祉サービス等の確保等に向けた検討と、市外の事業所との連携によるサービスの確保	高	274	-	市内で提供されていない保育所等訪問支援や不足している障がい児相談支援について、整備が予定されている児童発達支援センターで実施するための検討を行った。グループホームや通所サービス等、個別の支援の中でケースワーカーや相談支援専門員等が行っているが、市外の事業所との連携によるサービスの確保については取組みを行うことはできなかった。	B	市内では提供されていない障がい福祉サービス等の確保に向け、引き続き、他の市区町村の取組み等を参考に検討を進めていく必要がある。	

基本 目標	重点 施策		Plan(主な事業内容 (2019年度))	担当課	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善点)
	大	小							
2	総合的で切れ目のない生活支援システムづくり								
	(3) 切れ目のない障がい児(者)支援の実施								
			a児童発達支援センターにおける療育支援体制の検討(再掲)	高	276	-	基本目標2(1)①a(P13参照)		-
	①		a(仮称)子育て・教育複合施設における連携体制の検討	政 高 子 指 複	276	-	・複合施設内で情報共有を行うための相談システムの開発や、切れ目のない支援を行うための組織体制の検討等を進めた。 ・児童発達支援センターとの連携方法について、子育て・教育支援複合施設準備室と庁内調整を行った。	A	・児童発達支援センター開設の準備を進めるとともに、開設後の事業の実施状況等を見ながら療育支援体制の充実を進めていく必要がある。 ・児童発達支援センター発足後にどのようにしていくかを含めて、児童発達支援課担当職員、センター職員との連携体制を構築する必要がある。

基本 目標	重点 施策		Plan(主な事業内容 (2019年度))	担当課	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善点)
	大	小							
2	総合的で切れ目のない生活支援システムづくり								
	(3) 切れ目のない障がい児(者)支援の実施								
	②	c	関係部署や地域の関係機関同士で情報を共有し、連携を図るための会議体の検討	政 相 高 字	278	-	<ul style="list-style-type: none"> ・運営事業者の選定を行い、事業者と共にセンター開設に向けた準備を進めた。会議体についてはまだ具体的な形が見えていない。 ・市内の医ケア児の実態把握に努め、重心レスパイト事業の案内や各種手帳案内について、ケースワーカーを通じて行った。 ・都が実施する多摩府中保健所管内在宅療育支援地域連携会議に継続的に参加し、近隣自治体や医療機関・サービス提供事業者の情報収集に努めた。 	B	4月末の開設に向けたセンター開設の準備を進めるとともに、開設後の事業の実施状況等を見ながら療育支援体制の充実を進めていく必要がある。
d		保育所等訪問支援事業の実施に向けた検討	高	279	-	運営法人と児童発達支援センター内での実施に向けた検討を進めた。	A	引き続き、開設に向けた準備を進めるとともに、開設後の事業の実施状況等を見ながら事業の充実を進めていく必要がある。	

基本 目標	重点 施策		Plan(主な事業内容 (2019年度))	担当課	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善点)
	大	小							
2	総合的で切れ目のない生活支援システムづくり								
	(3) 切れ目のない障がい児(者)支援の実施								
	②		e児童発達支援センターにおける療育支援体制の検討(再掲)	高	279	-	基本目標2(1)①a(P13参照)		-
			f発達障がいを含む障がいに対する理解教育の実践的研究	指	279	-	狛江市立小・中学校の特別支援教室の運営等を通し、全ての学校で障がいに対する理解教育を推進するため、全教員対象の特別支援教育研修会(3回)を実施するとともに、地域特別支援教育推進連絡協議会(3回)における関係諸機関との連携協議により、特に狛江第三小学校あおば学級での実践的研究に対する示唆を受けた。	A	・教員のニーズに応じた特別支援教育研修会の研修内容を改善する必要がある。 ・通常の学級に在籍する、特別な支援を要する児童・生徒に対する配慮を充実させる必要がある。 ・中学校における自閉症・情緒障がい特別支援学級開設に向けた準備を進める。
			f特別支援教室におけるタブレット端末の活用方法の実践的研究	指	279	-	各学校に増設されたタブレット端末の活用方法等について、特別支援教室代表者会(5回)における情報交換の中で効果的な事例について学校間での共有を図った。	A	今後、児童・生徒一人1台のタブレット端末整備を踏まえた個別学習及び小集団学習の在り方を研究していく必要がある。

基本 目標	重点 施策		Plan(主な事業内容 (2019年度))	担当課	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善点)
	大	小							
2	総合的で切れ目のない生活支援システムづくり								
	(3) 切れ目のない障がい児(者)支援の実施								
	④	a関係部署や地域の関係機関同士で情報を共有し、連携を図るための会議体の設置(医療的ケア児)(再掲)	地 相 高 健	281	-	基本目標1(2)①a(P10 参照)		-	
		a医療的ケア児に対する関連分野の支援を調整するコーディネーターの配置の検討(再掲)	地 相 高 健	281	-	基本目標1(2)①a(P11 参照)		-	

基本 目標	重点 施策		Plan(主な事業内容 (2019年度))	担当課	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善点)
	大	小							
3	自立と社会参加を進めるシステムづくり								
	(1) 就労に向けた支援の実施								
	①	a地域開拓促進コー ディネーターによ る企業等の訪問	高	283	-	法定雇用率を下回る市内外の企 業を訪問し、障がい者就労が進ん でいる企業や国及び都の補助制度 等の情報提供を行った。 (訪問実績) 105件	B	引き続き、市内外の企業を訪 問し、障がい者就労に関する 情報提供等を行い、職場の 開拓を進めていく。	
		b地域開拓促進コー ディネーターの企 業訪問等による 職場開拓とネット ワークづくりの推進	高	284	-	企業訪問や職場定着支援を通し て企業とのネットワークを広げた。	B	企業訪問や職場定着支援で 培ったノウハウや情報を提供 していき、さらに多くの企業と ネットワークを構築していく。ま た、訪問等で把握した障がい 者雇用の取組みについて市 内外の企業等にも情報提供 し、障がい者就労への理解や 啓発を進めていく。	

基本 目標	重点 施策		Plan(主な事業内容 (2019年度))	担当課	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善点)
	大	小							
3	自立と社会参加を進めるシステムづくり								
	(1) 就労に向けた支援の実施								
	①		b「サポート」職員による就労後の職場定着のための職場訪問の実施	高	284	-	きめ細かい職場定着支援を行い、担当者及び企業との関係構築や、採用の促進を図った。	B	・職場定着支援をきめ細かく行うことで、職場定着を図ることができ、企業との関係が構築されることで採用につながっている。 ・障がい者と企業のマッチングがしやすい環境を整備するため、職場訪問を継続していく。
				c粕江市障がい者就労支援センター「サポート」等による講演会等の実施	高	284	-	障がい者就労に特化している企業の講演会を行う予定であったが、コロナ感染の影響で中止となった。	B

基本 目標	重点 施策		Plan(主な事業内容 (2019年度))	担当課	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善点)
	大	小							
4	安心で安全に暮らせるまちづくり								
	(1) 避難行動要支援者支援体制の充実								
	②	aプランに基づく個別 計画の策定	地	291	-	75歳以上の1人暮らし世帯を対象 に勧奨通知を送付し、個別計画の 策定を行った。	A	令和3年度は75歳以上のみ で構成する世帯を対象に個 別計画を策定する。	
		a地域組織・福祉関 係者との協定の締 結	地	291	-	狛江市見守り活動支援に係る対象 者名簿の提供に関する協定締結に 向けて地域組織などと交渉した結 果、狛江ハイタウン団地管理組合 法人と新たに協定を締結した。	A	今後も丁寧な説明の上、協 定先を増やしていく必要があ る。	

第2章 重点施策進捗管理シート

基本 目標	重点 施策		施策内容	主な事業内容 (2019年度)	担当課	頁	施策を実施するに当たっての課題	委員会からの意見
	大	小						
1	地域で暮らし続けられる基盤づくり							
	(1) 地域における生活の拠点の構築							
	①	地域生活支援拠点の整備	a地域生活支援拠点の整備等の検討		政 相 高	263	<p>障がい者の重度化、高齢化、「親亡き後」を見据え、障がいのある方が住みなれた地域で安心して暮らし続けられるまちとなるために、地域生活支援拠点の早期整備が必要である。</p> <p>同じく検討を進めている基幹型相談支援センターも含めた市の相談支援の中での役割を整理していく必要がある。</p>	<p>・地域生活支援拠点は地域で暮らし続けていくための基盤として期待されている。障がい者福祉計画の期をまたぐ可能性は高いですが、整備についての本格的なアクションを期待する。</p> <p>・地域生活支援拠点については、適時具体的な説明が求められると思う。</p> <p>・コンパクトな街という特色を生かし、進めていただきたい。</p> <p>・障がいのある市民の生活上の課題は多様化しており、それらに対応できる相談機能の充実が求められていることを考慮されたい。</p>

基本 目標	重点 施策		施策内容	主な事業内容 (2019年度)	担当課	頁	施策を実施するに当たっての課題	委員会からの意見
	大	小						
1	地域で暮らし続けられる基盤づくり							
	(2) 地域共生社会の実現に向けた支援体制の構築							
	①	保健、医療、福祉、 教育等の連携	a関係部署や地域の 関係機関同士 で情報を共有し、 連携を図るための 会議体の設置 (医療的ケア児)	地 相 高 健	267	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関や当事者からのさらなる情報収集やニーズ調査を行い、連携のための課題把握等を進めていく必要がある。 ・医療的ケア児に関わる庁内関係各課が把握できたため、今後はリアルタイムの把握、情報提供を含めた支援を実施していくことが課題である。 ・医療的ケア児及びその保護者のニーズを的確に把握できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・把握された関係各課の連携により個別的事例を解決することを積み重ねる中で会議体へと発展することを期待する。 ・関係各課の得意分野を把握し、委員会からメニュー提案していくことも必要だと思われる。 	
			a医療的ケア児に 対する関連分野 の支援を調整す るコーディネータ ーの配置の検討	地 相 高 健	267	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターとしてうまく機能できるよう委託法人と連携をとしつつ配置を進めていく必要がある。 ・コーディネーターとの連携が円滑に進むように連携のあり方を検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターが動きやすくなるよう会議体においても検討いただきたい。 ・コーディネーターの把握している課題も会議で共有していくことも必要ではないか。 	

基本 目標	重点 施策		施策内容	主な事業内容 (2019年度)	担当課	頁	施策を実施するに当たっての課題	委員会からの意見
	大	小						
1	地域で暮らし続けられる基盤づくり							
	(2) 地域共生社会の実現に向けた支援体制の構築							
	①	保健、医療、福祉、 教育等の連携	a精神障がい者の 地域移行を進め るための実態把 握	相 高	267	<ul style="list-style-type: none"> ・地域移行を進めるための実態把握を進める中で、引き続き支援の関わりが少ない遠方の病院に入院している方等のニーズ把握を進める必要がある。 ・どの医療機関に当市の対象者がいるか把握するため、リスト作成を行う必要があったが、社会保険加入者の保険情報が把握できないため、医療機関にアプローチをすることができない。 ・医療機関に調査を実施したが、個人情報の観点から情報を提供しただけでない医療機関もあり、正確な実態把握ができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障がい者の地域移行を進めるための実態把握について、個人情報等の関係から実態把握が難航しているようだが、地域移行を進めるために引き続き把握に努めつつ、把握できたところから課題の抽出をしていくなど、少しずつでも前進を期待する。 ・精神科病院への調査アプローチについて積極的に取り組まれていることは、高く評価したい。 ・困難な事情がある中で取り組まれようとしていることは評価できるが、何期もこのままでは問題だとも感じる。新たな方法を模索しているようだが、進展が欲しい。 	

基本 目標	重点 施策		施策内容	主な事業内容 (2019年度)	担当課	頁	施策を実施するに当たっての課題	委員会からの意見
	大	小						
1	地域で暮らし続けられる基盤づくり							
	(2) 地域共生社会の実現に向けた支援体制の構築							
	①	保健、医療、福祉、 教育等の連携	a関係部署や地域の 関係機関同士 で情報を共有し、 連携を図るための 会議体の検討 (発達障がい者・ 精神障がい者)	政 相 高 子	267	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障がい者対象の会議体については、具体的な検討に至っていない。 ・市内の医ケア児の実態把握に努め、重心レスパイト事業の案内や各種手帳案内について、ケースワーカーを通じて行った。 ・都が実施する多摩府中保健所管内在宅療育支援地域連携会議に継続的に参加し、近隣自治体や医療機関・サービス提供事業者の情報収集に努めた。 ・障害種別でごとに会議体を設置することになると会議体が増えてしまうのみならず、複数障がいのある方については、協議内容が重複してしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における支援体制の構築も同時に行っていく必要があるため、会議体の設置については早急に取り組んでいただきたい。 ・ネットワークの構築に対しても、必要な予算を計上し、高齢領域・障がい領域が一体となって取り組めるようになることが、理想であると考えている。 ・コロナ禍により在宅勤務の増加などによりレスパイト事業の重要性は増している。引き続きお願いしたい。 	

基本 目標	重点 施策		施策内容	主な事業内容 (2019年度)	担当課	頁	施策を実施するに当たっての課題	委員会からの意見
	大	小						
1	地域で暮らし続けられる基盤づくり							
	(2) 地域共生社会の実現に向けた支援体制の構築							
	③	市民のボランティア団体等による地域貢献活動の推進	a聴覚障がい者に対する手話通訳者・要約筆記者派遣による意思疎通支援	高	269	事業の安定的な実施のため通訳者・筆記者を確保し、レベルの維持向上を図ることが必要である。	通訳はボランティアではないが、聞こえない方々の生活には不可欠であるため技術の維持向上の取組みを引き続きお願いしたい。	

基本 目標	重点 施策		施策内容	主な事業内容 (2019年度)	担当課	頁	施策を実施するに当たっての課題	委員会からの意見
	大	小						
2			総合的で切れ目のない生活支援システムづくり					
			(1) 地域における相談支援の充実					
	①	切れ目のない相談支援・相談窓口の充実	a児童発達支援センターにおける療育支援体制の検討	高	270	運営法人とも連携して、センターの開設に向けた準備を進めつつ、センター開設後の状況を踏まえて療育支援体制の充実を図っていく必要がある。	センターの活躍に期待したい。	
			a基幹相談支援センターのあり方の検討	地 相 高	270	現状の相談支援体制や地域生活支援拠点の整備状況等を踏まえて、引き続き検討を行っていく必要がある。	・基幹相談支援センターのあり方の検討について、地域自立支援協議会での検討も含め、これまで一定程度の検討はされてきた。設置に向けての加速感が期待される。 ・地域生活拠点の整備と合わせて検討が必要である。	
			d地域自立支援協議会と障がい小委員会の連携を図り、施策を検討する体制の構築	相 高	271	令和2年度に策定される障がい者計画・第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画においても、地域自立支援協議会からの意見や協議されている内容を反映させる必要がある。	地域自立支援協議会からの意見や協議されている内容を報告いただき、内容を反映させたい。	

基本 目標	重点 施策		施策内容	主な事業内容 (2019年度)	担当課	頁	施策を実施するに当たっての課題	委員会からの意見
	大	小						
2	総合的で切れ目のない生活支援システムづくり							
	(2) 地域における障がい福祉サービスの充実							
	②	障がい福祉サービスの拡充・充実支援	a市内では提供されていない障がい福祉サービス等の確保等に向けた検討と、市外の事業所との連携によるサービスの確保	高	274	事業所の整備については、運営法人の確保が必要であり、早急な対応は難しい。	<ul style="list-style-type: none"> ・「市外の事業所との連携によるサービスの確保」についてはどのように課題を把握されているか。 ・現状は既存資源・近隣区市の資源と連携をとりつつ市内のサービスの整備が必要だと思う。 ・市内事業所が新たなサービスに取り組むことで実施法人のスケールを活かすことができるようになるという働きかけも必要ではないか。 	

基本 目標	重点 施策		施策内容	主な事業内容 (2019年度)	担当課	頁	施策を実施するに当たっての課題	委員会からの意見
	大	小						
2	総合的で切れ目のない生活支援システムづくり							
	(3) 切れ目のない障がい児(者)支援の実施							
	①	児童発達支援の充 実	a児童発達支援セ ンターにおける 療育支援体制 の検討(再掲)	高	276	基本目標2(1)①a(P29 参照)	-	
			a(仮称)子育て・ 教育複合施設 における連携体 制の検討	政 高 子 指	276	児童発達支援センター開設後の 状況を見ながら、運営法人を交え て支援・連携体制の検討を行って いく必要がある。	レインボーファイルを活用し 連携いただきたい。	
	②	ライフステージに応じ た切れ目のない支援 の実施	c関係部署や地域 の関係機関同士 で情報を共有し、 連携を図るための 会議体の検討	政 相 高 子	278	複合施設として整備されることを踏 まえ、運営法人を交えて支援・連 携体制の検討を行っていく必要が ある。	・センターを中核とし、地域で 各機関が共通の目標に向か えることを期待する。 ・連携体制をとれるようにす る場の設置が求められる。	
			d保育所等訪問支 援事業の実施に 向けた検討	高	279	センター開設後の状況を見なが ら、引き続き運営法人等と調整し つつ、効果的な事業を検討する必 要がある。今後は巡回相談との整 理も必要となる。	障がいに限らず子どもと家族 の課題は複雑化しており、訪 問支援の重要性は増しており 進展を望みたい。	

基本 目標	重点 施策		施策内容	主な事業内容 (2019年度)	担当課	頁	施策を実施するに当たっての課題	委員会からの意見
	大	小						
2			総合的で切れ目のない生活支援システムづくり					
			(3) 切れ目のない障がい児(者)支援の実施					
	②	ライフステージに応じた切れ目のない支援の実施	e児童発達支援センターにおける療育支援体制の検討(再掲)	高	279	基本目標2(1)①a(P29 参照)	-	
			f発達障がいを含む障がいに対する理解教育の実践的研究	指	279	特別支援教育に関する高い専門性を有する教員の育成を計画的に進めるとともに、優れた研究実践を、校務支援システム等を活用して、市内の教員が適切に共有できるようにする必要がある。	課題について検討・懇談する場の設置も重要だと考える。	
			f特別支援教室におけるタブレット端末の活用方法の実践的研究	指	279	児童・生徒一人1台のタブレット端末整備を踏まえ、効果的なアプリケーションや学習システムの導入を進めるとともに、個別学習及び小集団学習の在り方を研究していく必要がある。	モデル校を指定して重点的に教材開発や課題などを検討していくなど事業を推進していく必要がある。	

基本 目標	重点 施策		施策内容	主な事業内容 (2019年度)	担当課	頁	施策を実施するに当たっての課題	委員会からの意見
	大	小						
2			総合的で切れ目のない生活支援システムづくり					
			(3) 切れ目のない障がい児(者)支援の実施					
	④		医療的ケアを必要とする障がい児支援のための保健、医療、福祉、教育等の連携体制の構築	a関係部署や地域の関係機関同士で情報を共有し、連携を図るための会議体の設置(医療的ケア児(再掲))	地 相 高 健	281	基本目標1(2)①a(P25 参照)	-
				a医療的ケア児に対する関連分野の支援を調整するコーディネーターの配置の検討(再掲)	地 相 高 健	281	基本目標1(2)①a(P26 参照)	-

基本 目標	重点 施策		施策内容	主な事業内容 (2019年度)	担当課	頁	施策を実施するに当たっての課題	委員会からの意見
	大	小						
3			自立と社会参加を進めるシステムづくり					
			(1) 就労に向けた支援の実施					
	①		公的機関・民間企業 における障がい者就 労機会の確保	a地域開拓促進コ ーディネーター による企業等の 訪問	高	283	市内企業等小規模の企業を訪問 する中で、ニーズ等を把握しなが ら、障がい者の就労を促進してい く必要がある。	・市内企業等小規模企業に おいて障がい者の就労を促 進するにあたって、他自治体 の先進事例等を参考にして はどうか。 ・様々な就労ニーズに対応で きるよう多くの企業との関わり を期待する。 ・ハローワークの精神障がい 者雇用・発達障がい者雇用ト ータルサポーターを連携して 出前講座を企画するなども 考えられる。
						b地域開拓促進コ ーディネーター の企業訪問等 による職場開拓と ネットワークづくり の推進	高	284

基本 目標	重点 施策		施策内容	主な事業内容 (2019年度)	担当課	頁	施策を実施するに当たっての課題	委員会からの意見
	大	小						
3			自立と社会参加を進めるシステムづくり					
			(1) 就労に向けた支援の実施					
			公的機関・民間企業 における障がい者就 労機会の確保	b「サポート」職員に よる就労後の職 場定着のための 職場訪問	高	284	支援件数の増加や、障害種別の 増加及び支援の複雑化に対応す るための「サポート」職員の支援ス キルの向上やハローワーク等の関 係機関と連携を強化する必要があ る。	・長く働き続けられるよう、必 要な都度の定着訪問支援を していただきたい。 ・ハローワークの精神障がい 者雇用・発達障がい者雇用ト ータルサポーターを連携して 出前講座を企画するなども 考えられる。
				c粕江市障がい者 就労支援センタ ー「サポート」等 による講演会等 の実施	高	284	障がい者就労への理解促進及び 支援者も含めた講演会の周知を 検討する必要がある。	先進事例、成功事例などを 活用した講演会により就労機 会を増やす取組みを期待す る。

基本 目標	重点 施策		施策内容	主な事業内容 (2019年度)	担当課	頁	施策を実施するに当たっての課題	委員会からの意見
	大	小						
4	安心で安全に暮らせるまちづくり							
	(1) 避難行動要支援者支援体制の充実							
	②	災害時に関する支援	aプランに基づく個別計画の策定	地	291		課題等の記載がなかったが、引き続き地域組織との協定などの作業は必要かと思う。	
			a地域組織・福祉関係者との協定の締結	地	291		課題等の記載がなかったが、引き続き地域組織との協定などの作業は必要かと思う。	

刊行物番号 R2-40

あいとぴあレインボープラン
狛江市障がい者計画 進捗管理
平成31年度報告書
(令和2年10月)

発行 狛江市

編集 狛江市福祉保健部福祉政策課

〒201-8585 狛江市和泉本町一丁目1番5号

電話 03-3430-1111 (代)

頒布価格

50円